



年頭にあたって

代表理事組合長 高橋 秀樹

平成31年の新春を迎え、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

組合員の皆様におかれましては、御家族お揃いで、共に輝かしい新年をお迎えの事と心からお慶び申し上げます。

また、日頃より農協事業運営に対しまして特段の御理解と御支援、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

去年の営農を振り返ってみますと、3月上旬の大雪により雪解けが懸念されましたが、4、5月の好天により作業が順調に進み、豊作年を期待しておりましたが、6月の天候不順により、小麦においては良品質ではあったものの収量は平年を下回りました。他の作物につきましては、一部を除きほぼ平年作と言えるものでありました。畜産部門においては、9月6日の胆振東部地震によるブラックアウトにより、生乳の廃棄等の被害が発生しました。近年多発する台風や地震による災害には、いかに無力であるかを考えさせられました。30年度の農協事業におきましては、11月末現在の仮決算ではほぼ計画通りの数字となる状況となっております。これも偏に組合員の皆様方の日頃の営農努力の賜物と深く敬意を表す次第であります。事業年度も残すところあと2ヶ月あまりとなりましたが、計画以上の決算になるよう更に鋭意努力して参りますので、組合員の皆様の引続きの御協力をお願い致します。

農業を取り巻く情勢は、TPP11、日EU・EPA等の国際貿易交渉の急激な進展、日米間での日米物品貿易協定（TAG）の議論の行方による将来への不安が高まっております。さらに政府の農協改革集中推進期間の期限（平成31年5月）や准組合員の利用規制検討の期限（平成33年3月）が迫っており、農協改革議論の大きな節目を迎えます。

平成も最後の年を迎え、当農協の一大事業である新事務所建設も本年11月完成予定であり、建設予定地の倉庫解体も終了し、建設に向け着実に進捗しております。

今年は猪年ではありますが、猪突猛進になることなく、役職員一丸となり事業推進にあたり、勇往邁進していく所存でありますので、引き続き組合員の皆様のご協力をお願い致します。

今年も天候に恵まれ、災害も無く、豊穰の秋を迎える事が出来ます様、併せて組合員と御家族の皆様の御健勝と御多幸を心より御祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



新年を迎えて

札幌農業協同組合 代表監事

組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのことと思います。

平成30年を振り返りますと、3月上旬の大雪があり雪解けが心配されましたが、春耕期の作業、播種作業とも順調に進みました。しかし、6月に入り天候不順となり、日照不足、多雨などで農作物が多大な被害を受けました。小麦に於いては平年作を下回る結果となり、馬鈴薯も小玉傾向となり農協運営にも影響を及ぼすことが考えられます。8月下旬以降も晴天の日が続かず心配されましたが、9月に入り天候が回復しました。しかしながら、胆振東部地震のため馬鈴薯の集荷作業、生乳の集荷に多大な影響がでました。9月中旬以降は天候もよく、馬鈴薯、豆、ビート、長芋の収穫、小麦の播種と順調に進みました。

作物別に見ますと、小麦は、登熟期の低温、日照不足に見舞われて平年作を下回りました。馬鈴薯は、収量は平年の1割減で小玉傾向でした。豆類に於いても個人差が激しい結果となりました。ビートに於いては平年作を上回り、糖分もよく上々の結果となりました。今後の馬鈴薯、長芋等の有利販売に期待します。

酪農、畜産では、飼料高の中、胆振東部地震の停電の影響で生乳の生産量の計画達成に影響が出ています。家畜消流は、高止まり傾向で好調を維持しています。

農業情勢は、相変わらず農業者の高齢化や担い手不足など農業の構造変化の中、他国との経済連携協定など、今後の動きに注目していきたいと思います。

農協の運営では、新事務所が本年に完成予定で、建築準備委員会を中心に進んでいます。農協の事業もほぼ計画どおりに進んでいます。

監事会として監査業務を通して経営全般の強化に取り組んで行きたいと考えておりますので、組合員各位におかれましては引き続き、ご協力をよろしくお願い致します。

本年も災害がなく、豊穡の出来秋を迎えることができますよう、心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。



年頭にあたり

北海道農業協同組合 中央会会長

組合員並びにＪＡ役職員の皆様には、輝かしい平成３１年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先は気温も高く、農作物の生育は平年並みで推移しましたが、７月の豪雨や台風２１号により、農作物の倒伏や落果、農地・農業用施設の損壊など、全道各地域に甚大な被害が発生しました。

さらに９月６日に発生した北海道胆振東部地震により尊い命が失われるとともに、農畜産物や農業施設等に未曾有の被害が発生し、道内全域が停電となる「ブラックアウト」の発生により、組合員の営農やＪＡグループ北海道・農業関係組織の集出荷、輸送、製造、保管体制に多くの影響が生じてしまいました。

現在、ＪＡグループ北海道を挙げて、１日も早い、復旧・復興に向け、全力でその支援対策に取り組んでいるところであります。

作目別の作況をみますと、米は、作況指数が９０の「不良」、小麦は、天候不順の影響により、収量・品質とも平年を下回る結果、てん菜は、収量・糖度とも概ね平年並み、生乳は、胆振東部地震の影響と、今後は飼料作物の品質低下等による生乳生産への影響が懸念されているところです。

国際貿易交渉については、９月２７日、日米両国が「日米物品貿易協定」（ＴＡＧ）の交渉開始に合意したことが発表されました。

今後、ＴＡＧ交渉において、米国側から過去の経済連携協定で合意した以上の関税引き下げを求められる懸念があるため、その動向を注視していくとともに、農畜産物を犠牲にしない毅然とした対応を求めてまいります。

さて、昨年１１月には、第２９回ＪＡ北海道大会を開催しました。大会では、前回大会の決議事項を継承し、「農業所得増大」と「担い手確保・育成」の加速に取り組むとともに、「サポーターづくり」の活動拡大として、地域を共に支える准組合員の皆様のご意見の把握に、これまで以上に取り組むことを決議しました。

また、協同組合の原点を、あらためて見つめ直し、「新たな協同組合」の姿を継続的に討議することも決議しております。今後、組合員の多様な価値観やニーズに対応できる事業運営の展開を検討してまいります。

そして、この３年間の実践期間のうちに、２０１９年５月には政府が進める「農協改革集

中推進期間」の期限、2021年3月には「准組合員利用規制の調査期限」を迎えますが、JAグループ北海道としては、改革は自ら行うものとして、『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現に向けて、JAグループ一丸となって、大会決議事項の実践を通じた自己改革を進めてまいりたいと考えております。

結びになりますが、今年の干支は己亥（つちのとい）です。

亥には、「無病息災」や「安定した状態で始動を待つ準備期間」の意味があるとのことでもあります。

今年はこの亥年にあやかり、災害がなく、そして組合員の苦労が報われる実り多い豊穰の一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶といたします。



新年のご挨拶

札内農業協同組合 青年部長

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、謹んで新年のお慶びを申し上げます。また、日頃より青年部活動に対しましてご理解、ご支援、ご協力を頂いております組合員の皆様、農協役職員の皆様には改めて感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、3月に記録的な降水量の雨によるビートポットの浸水被害、6月の日照不足、長雨が続いたことに加え、9月6日の北海道胆振東部地震の影響で全道が停電になりました。酪農関係では、停電の影響で搾乳、生乳冷却などの作業が困難となり、牛の健康状態にも支障をきたしました。作柄におきましても、天候不順により、農作物の生育、品質に大きな影響を与えた一年となりました。

青年部の活動では、6月に農協施設周辺の環境整備を行いました。7月には恒例行事となっております農協役職員とのパークゴルフ大会は雨天のため中止となりましたが、屋内での懇親会は開催することができ、多くの方々にご参加頂き、大変嬉しく思っております。10、11月には、幕別町教育委員会と協力し実施している食育事業を札内南、北小学校の3年生139名の児童を対象に行いました。内容は札内南小学校がビートの収穫体験、札内北小学校が牧場見学を行いました。児童たちのワクワクした表情や楽しく体験や学習をしている姿を見て、私も嬉しくなったとともに、食と農業に対して興味を持っていることにとっても感心しました。そんな未来を担う子供たちへ安全安心な農作物を届けることの大切さを改めて感じました。今後も次世代を担う農業者となるべく、各種事業を通じて知識や技術の

習得、盟友個々の意識の向上を図り地域農業の振興と魅力ある青年部活動を目指していき
たいと考えております。

一方、昨年はT P P 1 1、日米首脳会談と農業情勢に大きな影響を与える動きがあり、農
協改革をめぐる問題では、農業所得の向上、農業生産の拡大等に進捗状況を示すことができ
ない状況にあります。非常に厳しい農業情勢になる中、私たち農業青年は今まで以上に、命
を支える食と農業の大切さを多くの方々に伝え、力強い農業を作り上げていかなければなら
ないと思います。

最後に、本年も変わらぬご支援ご指導をお願い申し上げますとともに、部員各位、そして
組合員の皆様の今年一年のご健康とご多幸を祈念し、年頭の挨拶と致します。



新年のご挨拶

れ内農業協同組合 女性部長

女性部員、ご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。輝かしい新年を迎えら
れたこととお慶び申し上げます。平成 30 年度も、事業計画に基づき女性部員の方々のご協
力を得ながら進める事が出来ました。

第 1 回目の事業として 6 月に下部組織合同パークゴルフ大会を予定しておりましたが、生
憎の雨降りとなり焼肉ガーデンにおいてゲームを 3 つ行う事となりました。そのうちの 1
つとして、塗り箸で豆を摘み移動させるゲームでは、滑らないように真剣にやる様子を皆様
から笑いが起きていました。2 2 名の方々と食事を共にして、楽しさを共有した 1 日となり
ました。

7 月にはニセコ方面に 1 3 名の方々と夏期研修に行ってきました。京極名水プラザでは
せせらぎに癒されました。ニセコ高橋牧場では、飲むヨーグルトやバームクーヘン、チーズ
に力を入れて雑貨も販売しており、多角的に行っていました。昆布温泉に泊まり、翌日はニ
セコ道の駅を観て豊富な新鮮野菜が並べられており、台車に野菜を載せて補充されていた
農家の女性の方が生き生きと頑張っている姿に力を頂きました。その後、革を使って手
作りのストラップ作り体験をしました。工房の指導を受けて世界に 1 つだけのオリジナル
ストラップが出来上がり良い体験が出来ました。最後には、真狩フラワーセンターに寄り綺
麗な花を観たりして帰路につき女性部の交流が深められました。

8 月には 1 2 名の参加で 1 日バス研修が行われました。明治十勝オーバルはスケート王
国十勝の応援体制の充実、競技者育成を目的として建てられたもので、素晴らしい氷でこれ
からの子供達がスケート王国十勝として続けてくれると嬉しいと思いました。その後清水
紙筒工場を見学させて頂き、手作業が多いという印象を受け、一冊ずつ点検して箱詰めする
事にも驚きました。神田日勝記念美術館では名画を鑑賞し、その後鹿追町環境保全センター

にてバイオガスプラントを見学しました。酪農家から運ばれた牛糞尿を処理してバイオガスで発電し、余熱を利用してチョウザメ飼育やマンゴー栽培に活かして次世代エネルギーの普及推進に励まれている現場を見学し勉強になりました。土幌の道の駅にも寄り、たくさんのお見学が出来て有意義な1日となりました。

昨年は全国的に豪雨や地震による停電等で大変な被害に遭われた方々もおられ大変な年でした。

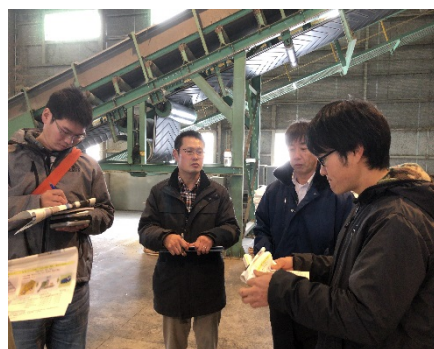
農業情勢も厳しい局面を迎えています。これからを担う農業者が一致団結して意欲、希望の持てる様に政策にも期待したいところです。

最後になりましたが、今後も女性部活動にご指導ご協力をお願い致します。

本年度も組合員皆様のご健康とご多幸を祈念し簡単ではございますが新年のご挨拶とさせていただきます。

青年部畜産専門委員会 管内視察研修

11月21日に、青年部畜産専門委員会による管内視察研修が開催され、新得町にある（農）しんとくTMRセンターの施設見学に行ってきました。本施設は、JA新得町の直営事業として平成17年に設立し、平成30年5月に法人化されました。2haの敷地内にバンカーサイロ17基、配合飼料タンク10基、圧縮梱包棟管理事業所の他に圧縮梱包機、ミキサー車を備えており、約2,000頭分の飼料を供給しています。



今回の研修では、本施設の概要や酪農経営の受委託・分業システムフローの説明といった内容を部員の皆さんは実際に見て、聞いて、触れて、熱心に学んできました。

JA十勝青年部大会

11月27日、日航ノースランドにてJA十勝青年部大会が開催されました。当農協からは7名の部員が参加し、『紡ぐ～想いを結んで歩みだそう～』という大会テーマのもと、他の単組との交流や意見交換を行いました。

「JA青年の主張発表大会」では、6単組の代表がそれぞれ発表を行い、JA青年部組織の強化と活動活性化について、他の模範となり今後の発展性が期待される事例や、地域内農業およびJA活動への具体的な成果をあげる実例が取り上げられました。部員一同、他の単組で行われている青年部活動に興味津々な面持ちで話を聞いていました。



女性部友の会 料理講習会

女性部友の会の料理講習会が12月3日に幕町百年記念ホールで行われました。毎年この時期に行われている料理講習会は、「地域牛乳・乳製品需要拡大事業」に基づき実施されており、全品に牛乳・乳製品が使われています。

今回のメニューは「ミルクプリン」「こっくりバターのコーンご飯」「ホワイトクリームシチュー」の3品でした。皆さん普段から料理をしていることもあり、作業を分担し、スムーズに料理をしていました。

また、作業中に笑い声が聞こえるなど和気あいあいとした中で料理講習会が行われていました。

完成した3品は、味・出来栄え共にとても素晴らしいもので、皆さん大満足で料理講習会を終えました



女性部 生涯学習



11月28日に農協2階会議室にて、札幌農協女性部による生涯学習が開催されました。今回は『レザークラフト』作りで部員11名が参加しました。

「レザークラフト」とは、「革」を使って、財布、バッグ、ブックカバーなどの作品を作ることです。今回は道庁地区の女性部員に講師を依頼し、ペンケースや小物入れ作りを行いました。

普段扱う事の少ない「革」に悪戦苦闘しながらも、皆さん楽しみながら、オリジナルの色と模様の「レザークラフト」を作成していました。

料理サークル 12月例会

12月5日に料理サークルの「12月例会」が百年記念ホールにて開催されました。今回のメイン料理は『羊羹』『クレープ』『キーマカレー』作りでした。

特に『羊羹』は、地元で収穫された小豆を使用し、小豆をこす際に栄養価の高い「皮」を取り除かずに餡に混ぜ込む等、こだわりのある料理となりました。

どれも味・出来栄共に大満足のいく料理となり、ボリュームがあつてとても美味しいと、皆さん話していました。



ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会

第15回、ジェネティクス北海道黒毛和種枝肉共励会が、10月20日に一般社団法人ジェネティクス北海道主催で北海道畜産公社において開催されました。北海道における黒毛和種雄牛後代検定事業の理解を一層深め、種雄牛の遺伝的特徴の把握と肥育技術の向上を図ることを目的として枝肉市場開催時に本共励会を併催し、当団繫養種雄牛の枝肉評価・展示・褒賞を行っています。

「一般の部」からは43頭、「後代検定の部」からは33頭の出品があり、当農協から出品の「はるこ4の16」が「後代検定の部」で最優秀賞を受賞しました。

